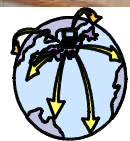


茨城新聞社の記者を招いての「出前授業」を5年生で実施しました。

2/12(月)、2校時に5年生の教室で「出前授業」を行いました。今回は、茨城新聞社報道部の小池記者と地域連携室の細谷さんにおいていただき授業をしていただきました。授業の中で、実際の新聞記事を使い記者の仕事についていねいに説明をしていただきました。児童の中には、将来、記者を志す児童が生まれるかも知れません。報道の大切さと重要性を学ぶことができた貴重な体験でした。



「そうだんポスト」を設置しています。

↓ 線で囲ったものが「そうだんポスト」です。

3学期に入って、保健室前の廊下に「そうだんポスト」を設置しました。児童の抱える悩みや困りごとなど、どんなことでも構わないので「一人で悩まない」で相談することができるよう設置しました。

人は誰でもストレスを抱えることがあります。児童のみなさんには、小さなことのうちに相談することでそのストレスが軽減できることがあることを理解してもらいたいと思います。一人で考え過ぎないことです。



今年度最後の「第3回学校保健委員会」を開催しました。委員の皆様のご協力に感謝します。

2/13(水)、PM3:40より本年度最後となる「第3回学校保健委員会」を開催しました。学校から、児童の健康状況と体力テストの状況や平成25年度の学校保健安全年間計画(案)について説明をさせていただき質疑を行いました。

後半には、笠野先生から「学校感染症」に関すること、岩間先生から本日の二酸化炭素濃度の結果を踏まえて「換気」に関することの指導をいただきました。本校のインフルエンザの罹患状況は、2週間前より改善されていますが、今後とも未然防止等に努めていくうえで貴重なお話をいただきました。

【身近な学校感染症の出席停止の基準】

<インフルエンザ> (学校だよりNo.42参照)
発症後5日、解熱後2日(幼児3日)が経過するまで

<百日咳>
特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで

<流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)>
耳下腺、顎下腺または舌下腺の膨張が発現した後5日間を経過し、かつ、全身症状が良好となるまで

<溶連菌感染症>
適正な抗菌剤治療開始後24時間を経て全身症状が良ければ登校可能

<手足口病>
発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒後は全身状態が改善すれば登校可能

<感染性胃腸炎>
下痢・嘔吐症状が軽快し、全身症状が改善されれば登校可能

※ 他の疾病や不明な点は学校にお問い合わせ願います。

【換気の重要性】

教室内の二酸化濃度を計測したところ、ファンヒーターを使用している教室では、教室の後ろの場所が、二酸化濃度が一番高いことが分かりました。換気をすることで、気温は2度ほど低下しますが、二酸化濃度はすぐに下がるそうです。自宅でも、注意をしてください。なお、花粉の時期では、「換気は花粉飛散量の少ない早朝・夜が望ましい」「風の強い日には窓を開け放しにしない」ことなどを指導いただきました。

